

愛知県ブロック春期災害対策用機械操作訓練を実施！

中部技術事務所は、6月5日から3日間、愛知県内の国土交通省職員および災害時の協力協定を締結している業団体の会員(災害協定業者)を対象に、東日本大震災等での出動した排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械の操作訓練を開催しました。

参加者は、195人となり、1回の訓練としては過去最大の参加者数となりました。

訓練機械

- 排水ポンプ車、照明車
- 対策本部車、待機支援車
- 衛星通信車
- Ku-sat(小型衛星画像伝送装置)
- 分解型バックホウ
- (遠隔操縦デモンストレーション)
- 投下型水位計(展示・説明)



排水ポンプ車の設置・排水訓練



照明車の設置・点灯訓練



バックホウの遠隔操縦デモ(有資格者は操作体験！)



投下型水位計の展示・説明



専門紙3社による取材(3社に掲載！)

参加者

日時	参加人数	参加団体等
6月5日	32人	中部地方整備局職員
6月6日	87人	日本建設機械施工協会(29人) 愛知道路災害対策協力会(79人) 庄内川災害対策協力会(30人) 多治見建設業協会(8人)
6月7日	76人	矢作ダム災害協定業者(7人) 恵那建設業協会(5人) 新城建設業協会(3人) 稲武・旭防災協議会(2人)
合計	195人	

中部技術事務所では、秋期にも同様な訓練を予定しております。